

# 東北地方 1か月予報

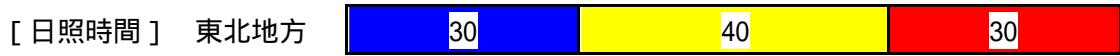
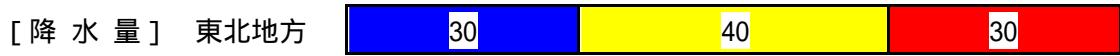
(3月6日から4月5日までの天候見通し)

平成16年3月5日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

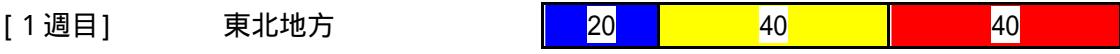
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。  
天気は数日の周期で変化するでしょう。期間の初めは気温の変動が大きい見込みです。  
向こう1か月の平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。  
週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目ともに平年並か高いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 3月 6日(土)～ 4月 5日(月)  
1週目 : 3月 6日(土)～ 3月 12日(金)  
2週目 : 3月 13日(土)～ 3月 19日(金)  
3～4週目 : 3月 20日(土)～ 4月 2日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は3月12日  
3か月予報:3月25日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	4.2	103.3	172.0	2.5	3.4	5.0
新庄	2.7	108.5	125.2	1.0	1.9	3.4
若松	3.9	64.6	146.8	1.8	2.8	4.8
深浦	3.5	81.7	133.2	1.6	2.5	4.3
青森	2.8	66.3	153.4	0.9	1.9	3.7
むつ	2.2	75.5	162.9	0.3	1.3	3.1
八戸	3.1	51.6	179.1	1.2	2.1	4.0
秋田	4.1	96.1	146.8	2.1	3.1	4.9
盛岡	2.7	83.3	169.7	0.7	1.7	3.6
宮古	3.8	91.7	186.2	2.0	2.9	4.6
酒田	5.0	102.0	137.6	3.2	4.1	5.8
山形	4.0	66.0	153.5	2.0	2.9	4.8
仙台	5.3	79.1	185.9	3.6	4.4	6.0
石巻	4.5	75.5	192.0	2.8	3.6	5.3
福島	5.7	79.4	182.0	3.8	4.8	6.5
白河	4.4	79.1	183.3	2.6	3.5	5.2
小名浜	6.9	114.5	188.0	5.4	6.1	7.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.3	85~113	96~107
東北日本海側	-0.3~+0.3	88~109	93~106
東北太平洋側	-0.3~+0.3	82~119	96~106

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.7	-0.6~+0.6	-0.4~+0.5
東北日本海側	-0.6~+0.6	-0.6~+0.6	-0.4~+0.5
東北太平洋側	-0.7~+0.6	-0.6~+0.6	-0.4~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成16年3月5日 仙台管区気象台

## 1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(3月6日~4月5日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。期間の初めは気温の変動が大きい見込みです。

平均気温は高いでしょう。

1週目(3月6日~3月12日) :

明日(6日)は低気圧の通過で天気がくずれる所があるでしょう。その後、8日頃まで冬型の気圧配置で、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側ではおおむね晴れる見込みです。期間中頃からは高気圧に覆われ晴れる所が多くなるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2週目(3月13日~3月19日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(3月20日~4月2日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

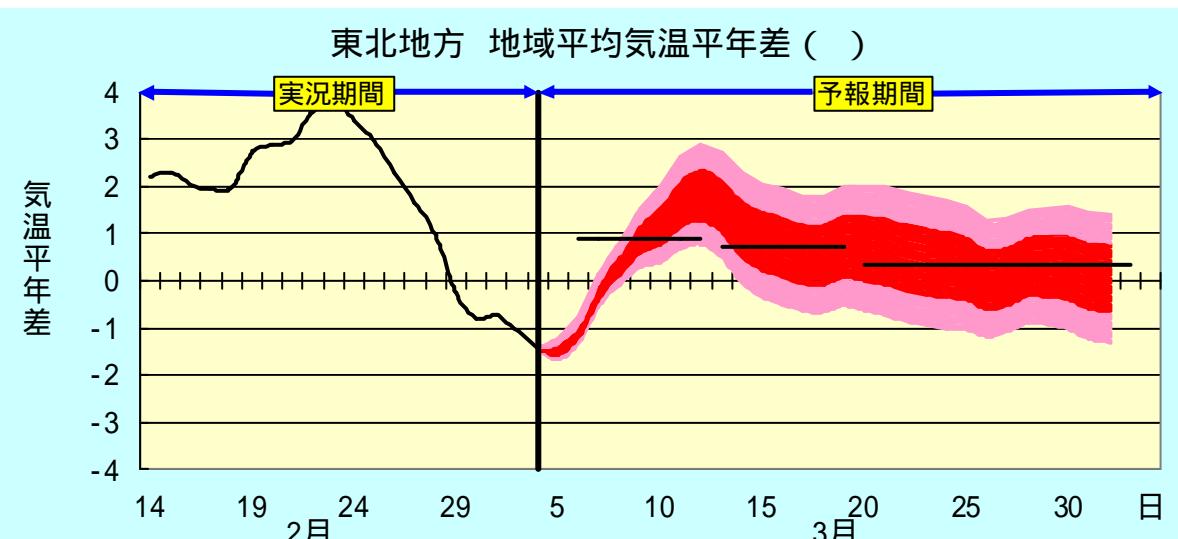
平均気温は平年並か高いでしょう。

## 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	12.6日	2.7日	3.1日	6.8日
東北太平洋側	17.9日	4.5日	4.8日	8.6日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目と2週目は「高い」、3~4週目は「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から1週目、2週目、3~4週目ともに「平年並か高い」に変更する。なお、数値予報の信頼度は小さい。



\* 実況期間(図の左側)の太い実線 東北地方地域平均気温平年差の実況値。(7日平均値)

\* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)

と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

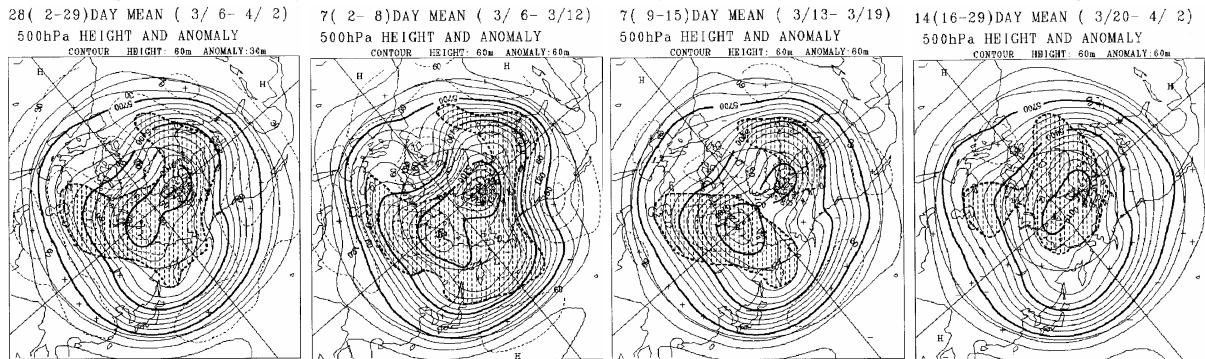
\* 水平な3本の実線: 予報期間の1週目、2週目、3~4週目についての多数の平均。

### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近が負偏差でウラル地方と北米大陸に負偏差がのびるが、日本を含む中緯度帶は広く正偏差で極東域への寒気の南下は弱い。偏西風の流れは順調。

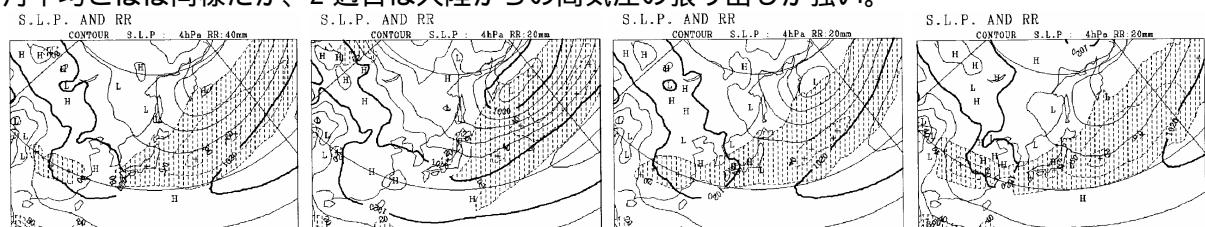
週別に見ると、1週目は、日本付近は正偏差だがオホーツク海以北には負偏差が広がる。2週目は、東半球の高緯度に負偏差域が広がるが、太平洋の日付変更線付近で正偏差が強く、日本付近も正偏差。3~4週目は、極付近で負偏差がまとまり、極東域は広く正偏差に覆われる。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近の等圧線の間隔はまばらで天気は数日の周期で変わる見込み。本州から日本の東海上にかけて降水域が広がる。

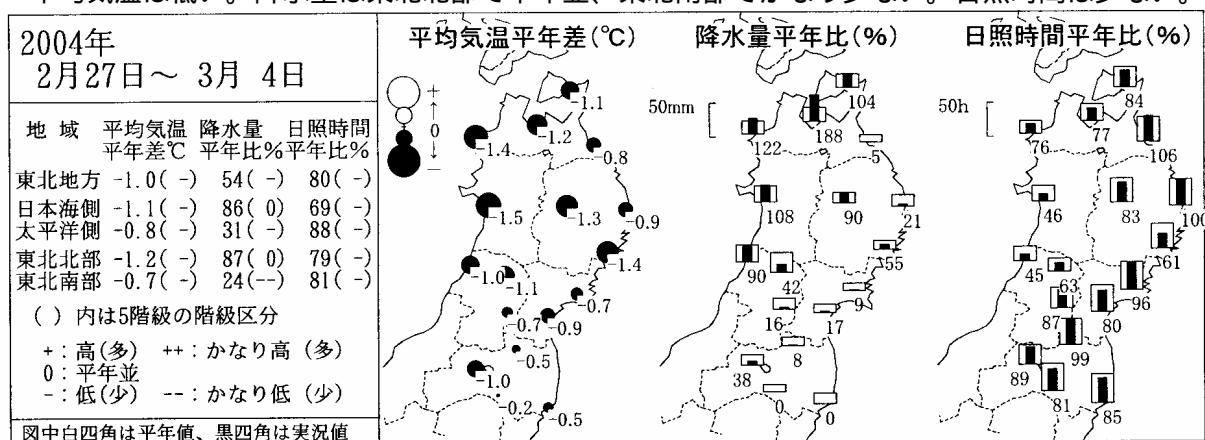
週別に見ると、1週目は北海道から北陸の日本海側に降水が予想される。2週目、3~4週目は月平均とほぼ同様だが、2週目は大陸からの高気圧の張り出しが強い。



### 4. 最近1週間（2月27日～3月4日）の天候の経過

この期間、28日は移動性高気圧が日本の南海上を東に進み概ね晴れたが、29日は東北地方を前線が通過し天気が崩れた。その他の日は冬型の気圧配置となり、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多くったが、4日は東北地方を低気圧が通過し東北太平洋側でも雪となった。

平均気温は低い。降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。日照時間は少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)